

講義名称	基礎演習Ⅱ	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	基礎演習 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	REQ112

授業のキーワード	教育の歴史、「学び」の意義、地域と学校
授業の概要	「学び」ということはどういうことなのか、を考えていきます。様々な学びの形態とその歴史の変遷を概観し、社会的な「学び」の中から生じてきた問題について言及します。
期待される学習成果 (目標)	1. 必要な情報を集め、取捨選択する力を身につけることができます。 2. 調べて文章にまとめ、発表する力を身につけることができます。 3. 卒業後の進路で必要とされる基礎学力を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	資料輪読①	教育の歴史に関わる文献を輪読します。
3	資料輪読②	教育の歴史に関わる文献を輪読します。
4	資料輪読③	教育の歴史に関わる文献を輪読します。
5	中間のまとめ	前講までの内容を総括します。各自が調べてみたいと思うテーマの候補をあげます。
6	情報収集①	テーマに応じ、発表に必要な情報収集を行います。
7	情報収集②	テーマに応じ、発表に必要な情報収集を行います。
8	情報収集③	テーマに応じ、発表に必要な情報収集を行います。
9	報告①	集めた情報をもとに簡単な報告を行います。
10	報告②	集めた情報をもとに簡単な報告を行います。
11	中間のまとめ	前講までの内容を総括します。
12	資料輪読④	教育の歴史に関わる文献を輪読します。期末レポートのテーマを決め、準備を行います。
13	資料輪読⑤	教育の歴史に関わる文献を輪読します。期末レポートのテーマを決め、準備を行います。
14	資料輪読⑥	教育の歴史に関わる文献を輪読します。期末レポートのテーマを決め、準備を行います。
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。

定期試験	本講で学んだことをふまえ、レポートを作成してもらいます。
授業時間外学習	第1～5講：予習で資料の下読みをし、復習で要約をします (60分)。第6～11講：調べたことをレジюмеにまとめます (60分)。第12～15講：復習してレポートの準備をします (60分)。
評価方法	授業への取り組み (30%)、課題レポート (70%) を総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	辻本雅史『「学び」の復権-模倣と習熟-』岩波現代文庫 市川寛明ほか編『図説 江戸の学び』河出書房新社